平成19年度「魅力ある大学院教育」イニシアティブ 「生活環境の課題発見・解決型女性研究者養成」教育プログラム 「学生による国際的研究セミナー」実施報告書

平成 20 年 1月 23 日

教育プログラム推進委員会 殿

国際的研究セミナーの実施について、下記のとおり報告します。

記

(以下の報告については、HP上での掲載及び印刷物等として公表される場合があります。)

	「一」「一」「「「「「「「「」」」「「「」」「「「」」「「」」「「」」「「」」
1. 氏 名	(ヤナイ タエコ)
(代表者)	柳井 妙子
2. 所属等	
	大学院人間文化研究科博士後期課程
	社会生活環境学専攻 2回生
3. 共同実施者の	1. 室谷雅美(博士課程後期2回生 社会生活環境学専攻)
学生氏名・所	2. 天野圭子(博士課程後期2回生 社会生活環境学専攻)
属等	3. 河合由香里((博士課程前期1回生 社会生活環境学専攻)
4. セミナー等	台湾、台中でのまちづくりセミナー
の名称	「地域資源を活かしたまちづくり」
5. 開催地	都市名:台湾、台中市
	会場:東海大学
6. 開催期間	
	2007年12月15日

7. セミナー等 | 王妍雯、 林珠雪・・・東海大学

の講師

林擎天・・・大葉大學 休閒管理學系

林攻美・・・南投縣魚池鄉涉水社區發展協會 責任者

顔新珠・・・新故郷文教基金會 理事長 NPO

廖振益・・・南投縣中寮鄉龍眼林福利協會 創立者

8. 開催規模

(開催規模はおおよその数で結構です)

参加者数 115名

9. セミナー等の内容 (当日のプログラム)

9:00 受付開始

9:30 会議開始(司会者:藤田美佐、黄雅芬)

東海大学日本語学科主任 林 嘉恵 挨拶

修士コース責任者 古川ちかし 主旨説明

林 珠雪(中文補充)

奈良女子大学人間文化研究科助教授 中山 徹 挨拶

9:45~12:00 奈良女子大学人間文化研究科

テーマ: 「日本のまちづくりの事例発表」

①河合由香里 「建築物の再生によるまちづくり」

②天野圭子 「市民参加によるコミュニティバスの運行」

③室谷雅美 「地域における子育て支援―公民館の事例―」

④柳井妙子 「住民参加型まちづくり―地域資源を活かしたまちづくりの事例―」

12:00~13:00 休憩(昼休み)

13:00~13:30 東海大学 王妍雯 林珠雪

テーマ:「台湾地域づくりのシステムと現状」

13:30~15:30 台湾地域づくりの発表

①経済(渉水コミュニティー): 南投縣魚池鄉渉水社區 発表者 林攻美(南投縣魚池鄉渉水社區發展協會 責任者)

②エコロジー (桃米コミュニティー): 南投縣桃米生態社區

発表者 顔新珠 (新故鄉文教基金會 執行長) NPO

③社会福祉(中寮コミュニティー): 南投縣中寮鄉龍眼林福利協會

発表者 廖振益 (南投縣中寮鄉龍眼林福利協會 創立者)

15:30~15:45 休憩(お茶)

15:45~17:00 パネルディスカッション

大葉大學 休閒管理學系 林擎天 奈良女子大学大学院 住環境学科 中山徹 南投縣魚池鄉涉水社區發展協會 責任者 林攻美 新故鄉文教基金會 執行長 NPO 顔新珠 南投縣中寮鄉龍眼林福利協會 創立者 廖振益 奈良女子大学大学院博士後期課程 柳井妙子

18:30 懇親パーティー

10. 成果及びその他参考となる事項

(この事業で得られた成果について記載願います。「生活環境の課題発見・解決に関わる成果」は必ず記載。)

今回は、東海大学の日本語学科が台湾の窓口となり、日本語と中国語の二ヶ国語でのまちづくりセミナーを実施しました。そのため台中市中心に市民団体、NPO団体、他大学で法律や観光を学び第二外国語として日本語を選択している学生たち約90名が外部から参加してくれました。

「まちづくり」に関しては日本の方が台湾より実践活動、研究が進んでいたという歴史 的背景があるため、「日本のまちづくり」の事例発表に対して、台湾の地域を何とか活性化 したいと考えられている団体の参加もありました。質疑応答を通して、日本と台湾との共 通した問題も見受けられ、今後もネットワークを広げながら課題解決に向けて継続して交 流をしていくことの重要性を感じました。

今回のセミナー実施のきっかけは、企画者である柳井が東海大学の日本語学科の林珠雪 准教授と出会ったことです。林先生のご主人が、中興大学教授でまちづくりの専門家だっ たことから、台湾で現在注目されているまちづくりの実践活動団体の代表者に講師として セミナーに参加してもらうことができました。ちょっとした人との出会い、つながりが大 きな力となってくることを実感しました。

また、今回の海外でのセミナー実施について、奈良女子大学諸先生方のご人力があった からこそだと感謝しております。謝金や交通費などの経費を使わせてもらった結果、貴重 な体験をさせていただきました。本当にありがとうございました。

11. 指導教員の確認

20年 1月23 日

署 名 中山 徹